

エコアクション21 令和6年度 環境経営レポート

対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日



【西部3Rステーション グリーンカーテン】

発行日：令和7年9月8日



美しい未来へ 住みやすい街づくり

公益財団法人 ふくおか環境財団
FUKUOKA ENVIRONMENT FOUNDATION



®環境省

エコアクション21
認証番号 0011517

～ 目次 ～

1. 環境経営方針.....	1
2. 組織概要.....	2
3. 組織体制（令和6年度）.....	3
4. 収集運搬許可に関する事項.....	4
5. 施設等の状況及び処理実績.....	5
6. 環境経営目標.....	6
7. 環境経営計画及び取組結果.....	7
8. 令和6年度の目標・実績・評価（R6.4.1～R7.3.31）.....	8
9. 環境経営目標の実績.....	9
10. 次年度の環境経営目標および環境経営計画.....	12
11. 環境関連法規の遵守評価と違反・訴訟等の有無.....	14
12. 環境啓発活動の実績.....	15
13. 環境負荷削減の取り組み（脱炭素に向けた取り組み等）.....	18
14. 環境配慮型設備の導入（太陽光発電）.....	21
15. 代表者による全体の評価と見直し.....	23



1. 環境経営方針

【基本方針】

私たちは「我が福岡を暮らしやすい都市として次世代に受け継ぐよう貢献する」を経営理念とし、福岡市が目指す「資源を活かす循環のまち」の実現に向けた事業に取り組んでいます。

私たちの事業活動は、直接、持続可能な社会の実現に携わっており、この強みを生かし、これからもその使命を果たしていくとともに、自らの事業活動に伴うエネルギー使用などによる環境負荷の継続的な低減にも力を注ぐことが必要です。

このことを全職員の理解のもと、常に環境経営の検証・改善に努めながら、環境経営方針に基づく活動に積極的に取り組み、地域社会の発展と地球環境の保全に貢献していきます。

【活動項目】

私たちは、基本方針の実現に向け、職員が持つ高い環境意識と豊富な業務経験により、環境の保全、啓発活動に取り組むとともに、環境関連法規等を遵守しながら事業活動や次の活動に取り組んでいます。

- (1) 電力・燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
- (2) 一般廃棄物、産業廃棄物の排出削減とリサイクルに努めます。
- (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
- (4) 業務用車両の燃費を向上します。
- (5) グリーン購入を推進します。

平成27年10月9日 制定
令和 6年 4月1日 改定
公益財団法人 ふくおか環境財団
理事長 高山 嘉樹

2. 組織概要

(1) 名称及び代表者氏名

事業所名：公益財団法人ふくおか環境財団 代表者氏名：理事長 高山 嘉樹

(2) 設立年月日：昭和 44 年 7 月 1 日

(3) 事業所

区分	施設名称	所在地
所有施設	本社	〒810-0071 福岡市中央区那の津 2 丁目 10 番 15 号
	事業部事務所	〒813-0034 福岡市東区多の津 5 丁目 3 番 10 号
指定管理施設	福岡市西部リサイクルプラザ	〒819-0162 福岡市西区今宿青木 1043 番 2
	福岡市葬祭場	〒811-1355 福岡市南区松原 6 丁目 1 番 1 号

(4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：総務部長 井上 和彦

担当者：総務課長 尾形 英俊

TEL：092-731-2701(代表)、E-MAIL：post@f-kankyo.or.jp

(5) 事業内容

- 1) ごみ収集運搬業務
- 2) 福岡市家庭系ごみ処理手数料徴収事務
- 3) 福岡市粗大ごみ受付センター業務等
- 4) 福岡市粗大ごみ処理手数料収納事務
- 5) 福岡市し尿収集運搬業務
- 6) 福岡市し尿処理手数料徴収事務
- 7) 排水設備完了検査業務
- 8) 自主事業
 - ① 廃棄物埋立管理技術普及啓発事業
 - ② 環境啓発事業
- 9) 福岡市の公の施設管理運営業務（指定管理施設）
 - ① 福岡市西部リサイクルプラザ管理運営業務
指定期間：令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
 - ② 福岡市葬祭場管理運営業務
指定期間：令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

(6) 事業の規模

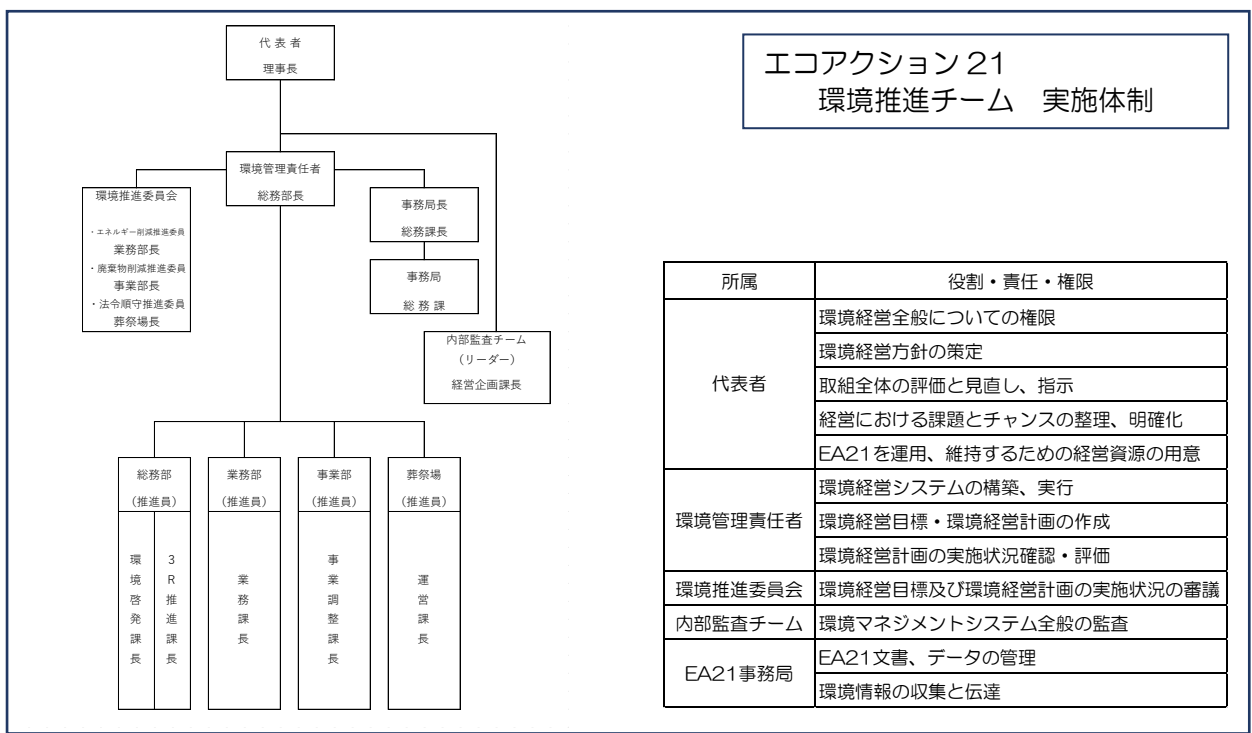
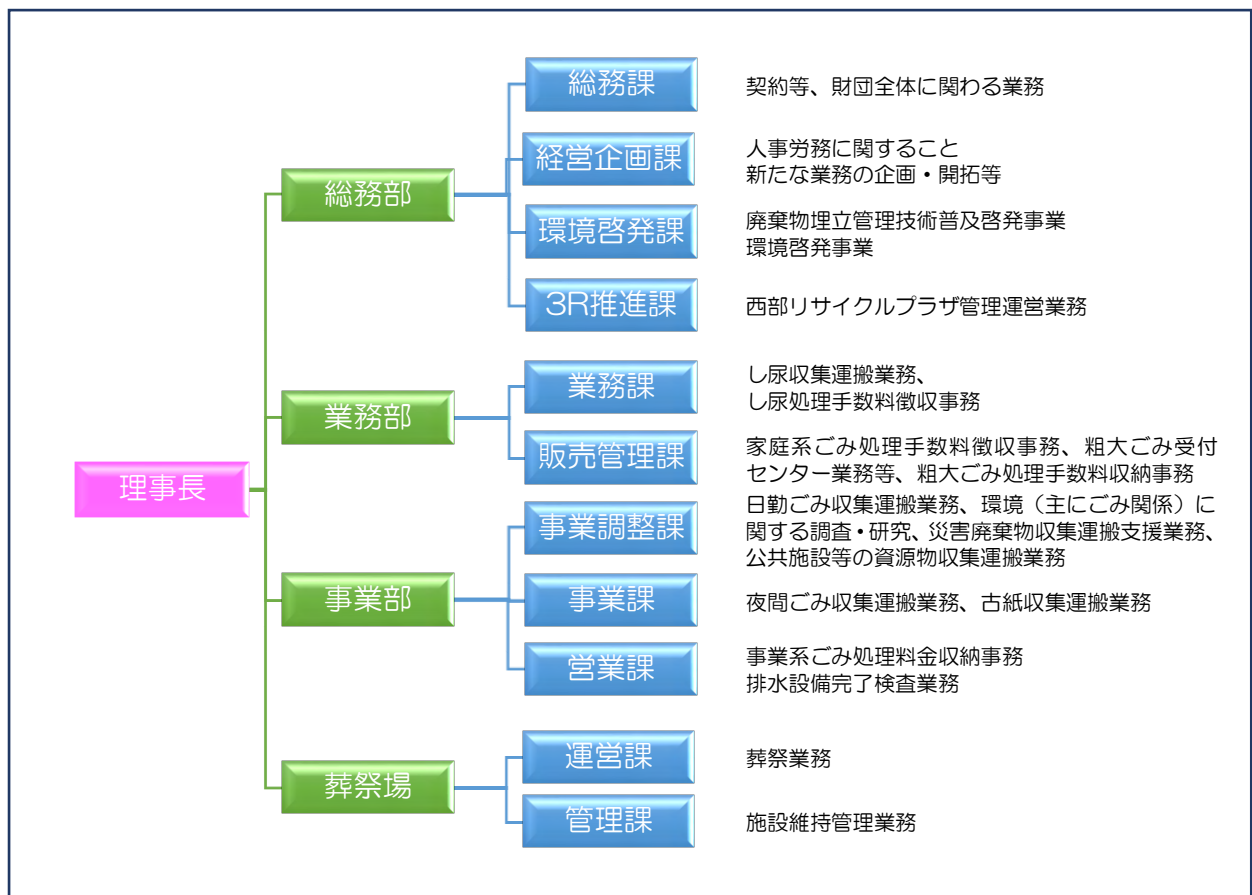
基本財産：20,000 千円
売上高：2,900,660 千円（令和 6 年度決算額）
職員数：153 名（令和 7 年度 現在）
事業年度：4 月から翌年の 3 月

(7) 対象事業所の範囲

本社、事業部事務所、指定管理施設（福岡市西部リサイクルプラザ、福岡市葬祭場）

(8) 対象活動 一般廃棄物収集運搬業、市一般廃棄物処理手数料徴収業務、市施設管理運営業務、排水検査業務、環境啓発事業

3. 組織体制（令和6年度）



4. 収集運搬許可に関する事項

○産業廃棄物収集運搬許可の内容

産業廃棄物収集運搬業		積替保管	許可番号 許可年月日 有効年月日	許可項目														
都道府県及び 政令指定都市				燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類	ばいじん
福岡県	有	無	第04000000500号 令和3年12月27日 ～ 令和8年12月26日		●				●			●	●	●	●			
		●																

○福岡市からの委託及び許可の内容

① 事業部（家庭系ごみ収集、事業系ごみ収集）

一般廃棄物収集運搬業		家庭系ごみ収集			公共施設等の資源物収集	事業系ごみ収集 可燃ごみ・ 不燃ごみ
都道府県及び政令指定都市	通し番号	可燃ごみ・ 不燃ごみ	粗大ごみ	ペットボトル・ 空きびん		
福岡市	1	550号				
	2	552号	483号	608号	680号	
	3	554号	797号		681号	
	4	555号	484号	553号	682号	
	5	557号	803号	556号	683号	
	6	616号	485号	617号	685号	
	7		805号		684号	
	8					431号
	9					432号
	10					433号
	11					434号
	12					435号
	13					436号
	14					437号
	15					438号
	16					439号
	17					518号
	18					522号
	19					334号
	20					877号

注：号車番号が複数記載されている車両は、許可番号を複数持つ共用車両。

② 業務部（し尿収集）

一般廃棄物収集運搬業		通し番号	し尿
都道府県及び政令指定都市			
福岡市	1	228号	
	2	215号	
	3	205号	
	4	209号	
	5	230号	
	6	305号	
	7	229号	
	8	210号	

5. 施設等の状況及び処理実績

○車両、施設等の状況（運搬車両の種類、台数及び設備能力）

【本社】

連絡車 : 7台

バキューム車 : 8台

【事業部事務所】

パッカー車 : 16台（うち1台 FC（水素燃料電池）パッカー車）

2t平ボディ車 : 2台

アームロール車 : 1台

クレーン付きトラック : 1台

連絡車 : 8台

軽トラック : 1台

【福岡市西部リサイクルプラザ】

連絡車 : 2台

【福岡市葬祭場】

連絡車 : 1台

軽ダンプ車 : 1台

火葬炉 : 26基（最大火葬件数 48件／日）

○処理実績

・一般廃棄物収集運搬実績

廃棄物収集運搬量		令和6年度	単位
し尿		7,632	kL
ごみ	家庭系ごみ	5,841	t
	公共施設等の資源物	263	t
	事業系ごみ	13,260	t
	事業系古紙	641	t
	食品廃棄物	511	t

・火葬利用実績

利用区分	令和6年度	単位
火葬件数	13,282	件

・福岡市西部リサイクルプラザ利用実績

利用区分	令和6年度	単位
施設内事業利用者	51,120	人
施設外事業利用者	6,128	人

6. 環境経営目標

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	第3期中期目標				
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
				0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減
1. 二酸化炭素排出量の削減	全体	t-CO ₂	366.5	364.7	362.8	361.0	359.2	357.3
①電気使用量の削減 (EV車導入分反映) ^{※1}	全体	kWh	1,720,525	1,711,922	1,703,320	1,694,717	1,686,115	1,677,512
	本社	kWh	149,036	148,302	147,822	147,089	146,650	145,902
	事業部	kWh	63,055	62,740	62,488	63,619	63,296	62,973
	葬祭場	kWh	1,508,434	-	-	-	-	-
	火葬件数		12,683	-	-	-	-	-
	(原単位による削減) ^{※2}	kWh/件	119	118	118	117	117	116
②都市ガス使用量の削減	事業部	Nm ³	23,497	23,380	23,262	23,145	23,027	22,910
③ガソリン使用量の削減 (EV車導入分反映) ^{※1}	全体	L	6,334	6,296	6,111	5,397	5,228	5,202
	本社	L	1,191	1,180	1,050	1,036	890	885
	業務課	L	116	115	115	114	114	113
	事業部	L	4,356	4,334	4,283	3,586	3,568	3,550
	葬祭場	L	671	667	664	661	657	654
④軽油使用量の削減	事業部	L	116,062	-	-	-	-	-
	t		19,784	-	-	-	-	-
	(原単位による削減) ^{※2}	L/t	5.87	5.84	5.81	5.78	5.75	5.72
2. 廃棄物排出量の削減								
①一般廃棄物排出量の削減	全体	kg	3,351	3,334	3,317	3,300	3,284	3,267
	本社	kg	657	654	650	647	644	640
	業務課	kg	834	830	826	822	818	814
	西部リサイクルプラザ	kg	920	915	911	906	902	897
	事業部	kg	939	935	930	925	920	916
②産業廃棄物排出量の削減 (適正処理)	全体	t	35.28	35.10	34.93	34.75	34.57	34.40
	業務課	t	1.92	1.91	1.90	1.89	1.88	1.87
	事業部	t	33.36	33.19	33.03	32.86	32.69	32.53
3. 水使用量の削減								
①水使用量の削減	全体	m ³	3,786	3,767	3,748	3,729	3,710	3,691
	本社	m ³	1,334	1,327	1,321	1,314	1,307	1,301
	事業部	m ³	2,452	2,440	2,427	2,415	2,403	2,391
4. 施設、業務の維持管理（管理目標） ^{※3}								
二酸化炭素排出量（参考）	全体	t-CO ₂	1,772.9	1,772.9	1,772.9	1,772.9	1,772.9	1,772.9
①都市ガス使用量の管理	葬祭場	Nm ³	650,107	650,107	650,107	650,107	650,107	650,107
②ガソリン使用量の管理	西部リサイクルプラザ	L	448	448	448	448	448	448
③軽油使用量の管理	業務課	L	26,426	26,426	26,426	26,426	26,426	26,426
④一般廃棄物排出量の管理	葬祭場	kg	2,139	2,139	2,139	2,139	2,139	2,139
⑤水使用量の管理	全体	m ³	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266
	西部リサイクルプラザ	m ³	472	-	-	-	-	-
	葬祭場	m ³	2,794	-	-	-	-	-
5. グリーン購入の推進	全体	% ^{※4}	37	37	37	38	38	38
6. 環境啓発事業の推進（管理目標）	西部リサイクルプラザ 環境啓発課	% ^{※5}	91	91	91	91	91	91

※1 EV車の導入計画に基づく、EV車導入による使用量増減分を目標値に反映している。

※2 外的要因により単純な使用量での削減が困難な指標であるため、削減目標を原単位による指標としている。

※3 管理目標は、外的要因により削減が困難な指標を削減目標から外し、基準年に対しての実績値の推移を管理、注視していく目標としている。

※4 グリーン購入については、全購入件数に対するグリーン購入件数の割合を表しており、購入割合の増加を目標としている。

※5 環境啓発事業の推進については、アンケートで「今日の講座を体験して、ごみを減らすために何かやってみようと思った」など行動変容に繋がるような回答をした参加者の割合を表している。

7. 環境経営計画及び取組結果

項目	環境経営計画	取組結果
1.エネルギー使用量の削減		
電気使用量の削減	昼休み、残業時の不必要な照明の消灯	○
	パソコン、コピー機等のOA機器類の省電力設定	○
	エアコン設定温度を決め、実行	○
	駐車棟、詰所のエアコン設定温度を決め実行	○
	使用していない部屋の空調・照明等は主電源を切る	○
	グリーンカーテンの実行	○
都市ガス使用量の削減	使用していない部屋の空調は停止	○
	空調機のフィルターの定期的な清掃	○
	給湯時の適温設定	○
ガソリン使用量の削減	アイドリングストップの励行	○
	急発進・急加速や空ぶかしの禁止	○
	空気圧の定期的確認と適正値保持（給油時）	○
	電気自動車の導入	○
軽油使用量の削減	アイドリングストップの実施	○
	急発進・急加速や空ぶかしの禁止	○
	空気圧の定期的確認と適正値保持	○
	効率的な収集経路ルート計画を実行	○
2.廃棄物排出量の削減		
一般廃棄物排出量の削減	使い捨て製品（容器：弁当等）の持ち込み抑制	○
	使用済み用紙等の裏紙利用	○
	使用済み紙類の分類（資源化：リサイクル業者へ）	○
	詰め替え可能商品の利用	○
	空き缶・ビンの分別（資源化：リサイクル業者へ）	○
産業廃棄物排出量の適正処理	汚泥・廃油の適正処理	○
	Gトラップの定期清掃	○
	バキューム車用ホースの取扱に注意し使用期間を長くする	○
	活性炭の使用期間を定め、排出量を削減する（冬：長く）	○
3.水使用量の削減		
水使用量の削減	手洗いなどの日常使用時の節水励行	○
	啓発ポスターの掲示	○
	洗車時の節水（水の出っぱなしをしない等）	○
	入浴時の節水	○
4.グリーン購入の推進		
グリーン購入の推進	購入時にエコ商品を選択する	○
	リストを参考に購入を推進する	○
5.環境啓発事業の推進		
環境啓発事業の推進	イベントへの参画（参加）	○
	出前講座（環境教育）の実施	○
	環境啓発プログラムの検討	○

8. 令和6年度の目標・実績・評価（R6.4.1～R7.3.31）

環境経営目標	サイト 区分	単位	基準年	目標	実績		
			R5年度	R6年度	R6年度 4月～3月(2)	対目標 達成率	評価
				0.5%削減			
			R5年4月～ R6年3月	R6年4月～ R7年3月(1)			
1. 二酸化炭素の排出量	全体	t・CO ₂	366.5	364.7	369.5	98%	×
① 電気使用量の削減	全体	kWh	1,720,525	1,711,922	1,782,165	96%	×
本社		kWh	149,036	148,302	149,457	99%	×
西部リサイクルプラザ（3R推進課）		kWh	-	-	-	-	-
事業部		kWh	63,055	62,740	66,723	94%	×
葬祭場		kWh	1,508,434	-	1,565,985	-	-
		火葬件数	12,683	-	13,282	-	-
		kWh/件※1	119	118	118	99%	×
② 都市ガス使用量の削減	事業部	Nm ³	23,497	23,380	26,525	88%	×
③ ガソリン使用量の削減	全体	L	6,334	6,296	5,646	111%	○
本社		L	1,191	1,180	1,136	103%	○
業務部		L	116	115	144	80%	×
事業部		L	4,356	4,334	3,638	119%	○
葬祭場		L	671	667	728	91%	×
④ 軽油使用量の削減	事業部	L	116,062	-	115,220	-	-
		t	19,784	-	20,516	-	-
		L/t※2	5.87	5.84	5.62	103%	○
2. 廃棄物排出量の削減		-	-	-	-	-	-
① 一般廃棄物排出量の削減	全体	kg	3,351	3,334	3,447	96%	×
本社		kg	657	654	649	100%	○
業務課		kg	834	830	1,029	80%	×
西部リサイクルプラザ（3R推進課）		kg	920	915	810	113%	○
事業部		kg	939	935	959	97%	×
② 産業廃棄物排出量の削減 （適正処理）	全体	t	35.28	35.10	42.33	82%	×
業務課		t	1.92	1.91	1.37	139%	○
事業部		t	33.36	33.19	40.96	81%	×

環境経営目標	サイト 区分	単位	基準年	目標	実績			
			R5年度	R6年度	R6年度 4月～3月②	対目標 達成率	評価	
				0.5%削減				
				R5年4月～ R6年3月				R6年4月～ R7年3月①
3.水使用量の削減	全体	m³	3,786	3,767	3,934	95%	×	
	本社	m³	1,334	1,327	1,228	108%	○	
	事業部	m³	2,452	2,440	2,706	90%	×	
4.施設、業務の維持管理（管理目標）		-	-	-	-	-	-	
	二酸化炭素排出量（参考）	全体	t・CO ₂	1,772.9	1772.9	1,549	114%	○
	①都市ガス使用量の管理	葬祭場	Nm3	650,107	650,107	666,810	97%	×
	②ガソリン使用量の管理	西部リサイクルプラザ（3R推進課）	L	448	448	394	113%	○
	③軽油使用量の管理	業務課	L	26,426	26,426	23,834	110%	○
	④一般廃棄物排出量の管理	葬祭場	kg	2,139	2,139	1,955	109%	○
	⑤水使用量の管理	全体	m3	3,266	3,266	3,184	102%	○
	西部リサイクルプラザ（3R推進課）	m3	472	-	437	-	○	
	葬祭場	m3	2,794	-	2,747	-	○	
5. グリーン購入の推進	全体	%（購入率）※3	37	37	43	115%	○	
6. 環境啓発事業の推進（管理目標）	環境啓発課 西部リサイクルプラザ	%（行動変容率）※4	91	91	93	102%	○	

※1 単位「kWh/件」は、火葬処理件数1件あたりで消費する電力の平均値を表している。

※2 単位「L/t」は、ごみ収集重量1tあたりで消費する燃料の平均値を表している。

※3 グリーン購入率は、全購入件数に対するグリーン購入件数の割合を表している。

※4 環境啓発事業の推進の率は、アンケートで「今回の受講をきっかけに、今後も不要なものを扱う作品をつくってみたいと思いますか」など、行動変容につながるような回答をした参加者の割合を表している。

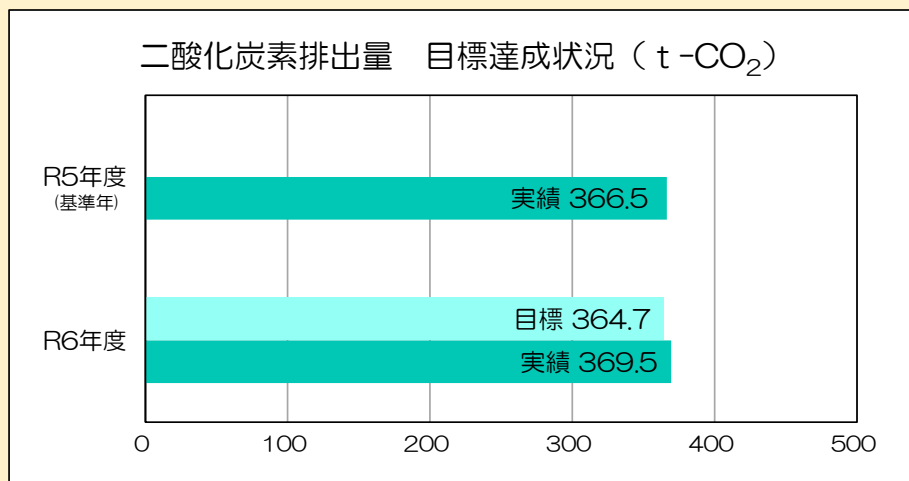
9. 環境経営目標の実績



<二酸化炭素排出量 (CO₂)>



目標未達...



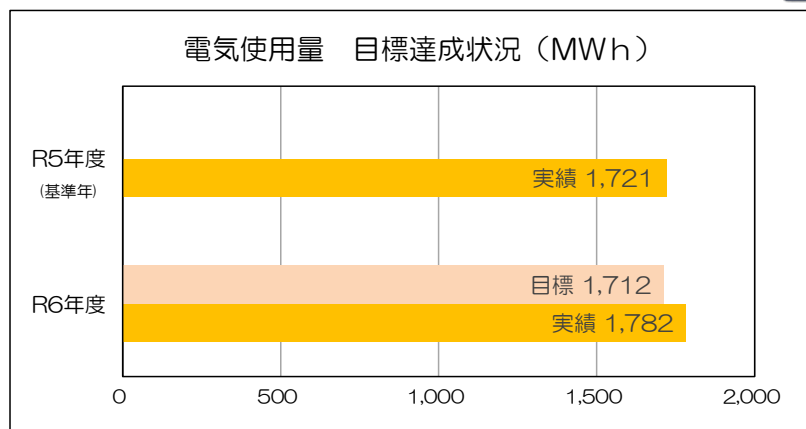
業務用連絡車のEV軽自動車への切替え、FC（水素燃料電池）ごみ収集車の導入により、ガソリン・軽油の使用量削減が図られた一方、猛暑の影響など空調機器で使用している都市ガスの削減目標が未達となり、全体としてのCO₂排出量削減目標は未達（乖離率約1.3%）となりました。適正な温度管理による空調機器の使用により、都市ガスの使用量削減に努めていきます。



<電気使用量>



目標未達...



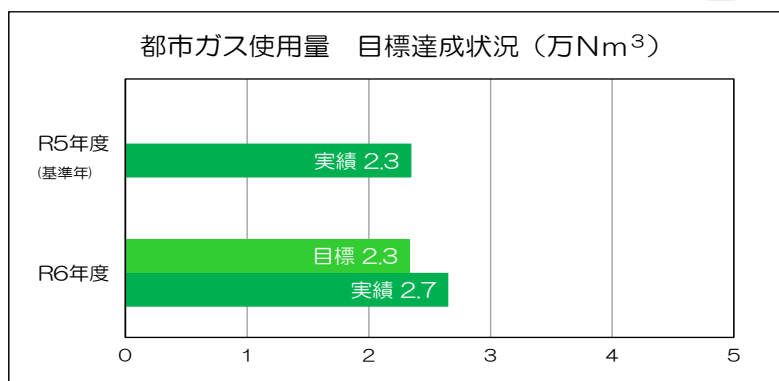
EV車両の導入や葬祭場の火葬件数増加に伴う使用量の増加など、全体的に使用量は増加傾向であり、削減目標は未達（乖離率約4.1%）となりました。

OA機器の省電力設定など、使用量削減に向けた日々の取り組みは実施できており、夏場の空調機器の適正な温度管理などにより、使用量の削減を図っていきます。

<都市ガス使用量>



目標未達...



気候の変動による夏場、冬場の空調機器使用が影響し、使用量は増加傾向であり、削減目標は未達（乖離率約 17.4%）となりました。

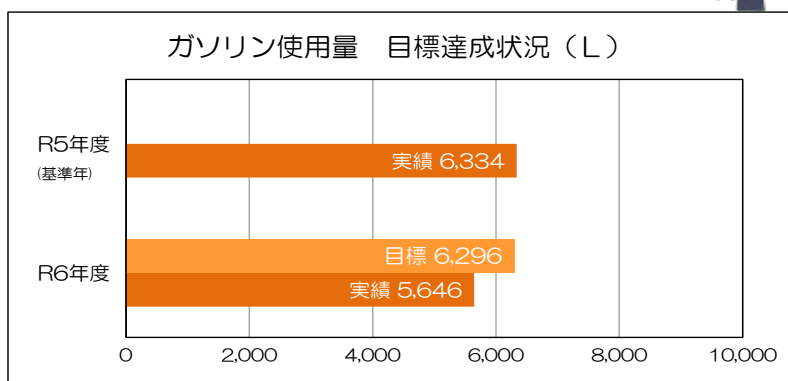
可能な範囲での空調機器の適正温度管理により、使用量の削減を図っていきます。



<ガソリン使用量>



目標達成!



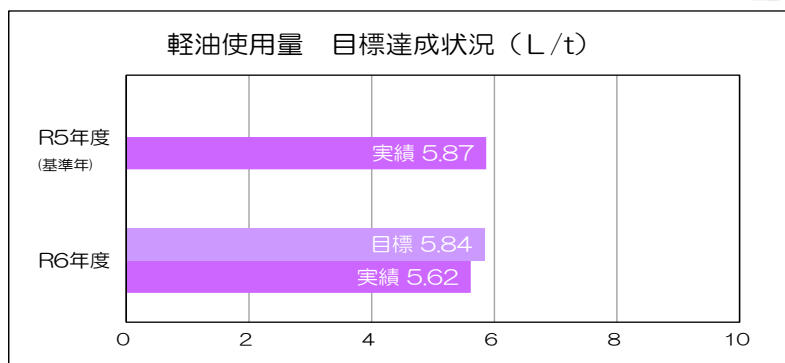
EV 車両の導入により使用量の削減が図られ、削減目標を達成できています。引き続き、エコドライブの実施や業務用車両の効率的な使用など、日々の取り組みにより、使用量の削減に努めていきます。



<軽油使用量>



目標達成!



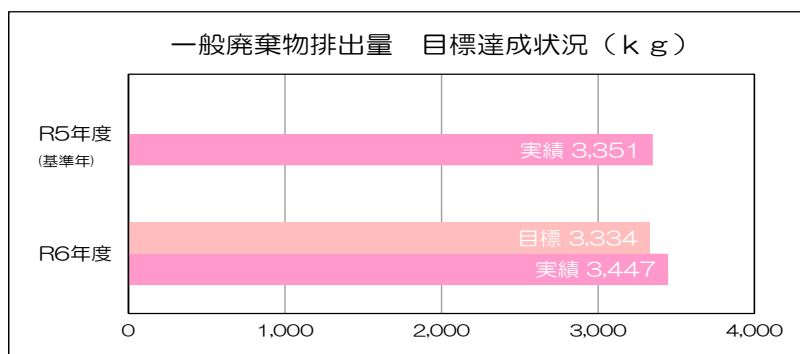
FC（水素燃料電池）ごみ収集車の活用により使用量の削減が図られ、削減目標を達成できています。食品廃棄物の分別収集の開始などで収集効率の低下も見られますが、引き続き、エコドライブの実施など、日々の取り組みにより、使用量の削減に努めていきます。



<一般廃棄物排出量>



目標未達...



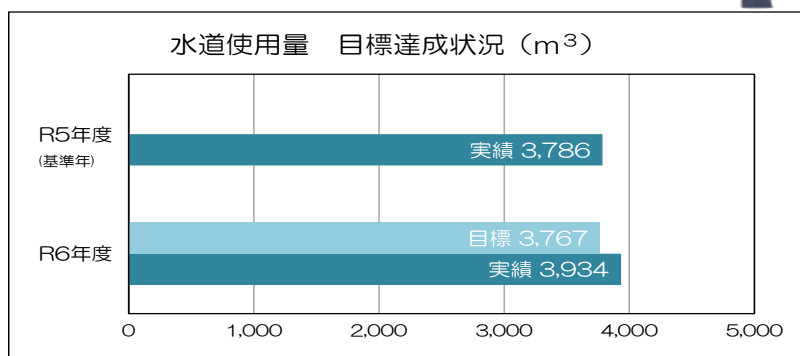
倉庫整理による臨時的な廃棄物の発生があり、削減目標は未達（乖離率約 3.4%）となりました。事業活動において排出される廃棄物の分別など、日々の取り組みを継続していくことで、排出量の削減に努めていきます。



<水道使用量>



目標未達...



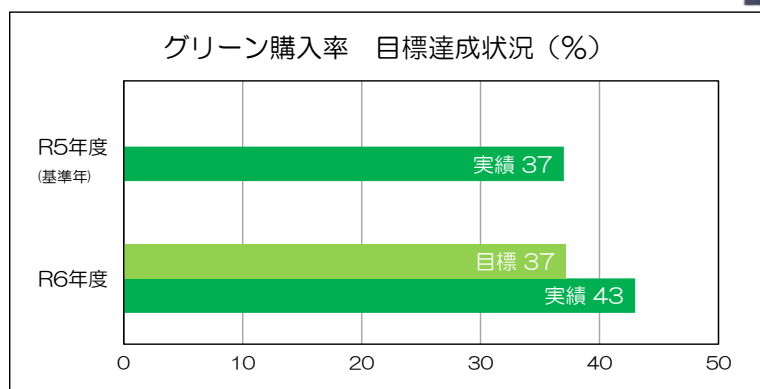
削減目標は未達（乖離率約 4.4%）となりました。今後は、日常の使用において、節水を図ることで削減に努めていきます。



<グリーン購入率>



目標達成!



グリーン購入については、目標を対前年比での購入率の増加としており、達成できています。今後も物品調達の一必要性を考慮したうえで、環境物品の優先的な調達に努めていきます。

10. 次年度の環境経営目標および環境経営計画

次年度の環境経営目標は、基準年を令和5年度とし、下表のとおりとします。

また、次年度の環境経営計画は、令和6年度（7ページ参照）の取り組みを継続して行います。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	第3期中期目標				
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
				0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減
1. 二酸化炭素排出量の削減	全体	t-CO ₂	366.5	364.7	362.8	361.0	359.2	357.3
①電気使用量の削減 (EV車導入分反映)※1	全体	kWh	1,720,525	1,711,922	1,703,320	1,694,717	1,686,115	1,677,512
	本社	kWh	149,036	148,302	147,822	147,089	146,650	145,902
	事業部	kWh	63,055	62,740	62,488	63,619	63,296	62,973
	葬祭場	kWh	1,508,434	-	-	-	-	-
	火葬件数	件	12,683	-	-	-	-	-
	(原単位による削減)※2	kWh/件	119	118	118	117	117	116
②都市ガス使用量の削減	事業部	Nm ³	23,497	23,380	23,262	23,145	23,027	22,910
③ガソリン使用量の削減 (EV車導入分反映)※1	全体	L	6,334	6,296	6,111	5,397	5,228	5,202
	本社	L	1,191	1,180	1,050	1,036	890	885
	業務課	L	116	115	115	114	114	113
	事業部	L	4,356	4,334	4,283	3,586	3,568	3,550
	葬祭場	L	671	667	664	661	657	654
④軽油使用量の削減	事業部	t	116,062	-	-	-	-	-
	(原単位による削減)※2	L/t	19,784	-	-	-	-	-
			5.87	5.84	5.81	5.78	5.75	5.72
2. 廃棄物排出量の削減	全体	kg	3,351	3,334	3,317	3,300	3,284	3,267
①一般廃棄物排出量の削減	本社	kg	657	654	650	647	644	640
	業務課	kg	834	830	826	822	818	814
	西部リサイクルプラザ	kg	920	915	911	906	902	897
	事業部	kg	939	935	930	925	920	916
	全体	t	35.28	35.10	34.93	34.75	34.57	34.40
②産業廃棄物排出量の削減 (適正処理)	業務課	t	1.92	1.91	1.90	1.89	1.88	1.87
	事業部	t	33.36	33.19	33.03	32.86	32.69	32.53
	全体	t	35.28	35.10	34.93	34.75	34.57	34.40
3. 水使用量の削減	全体	m ³	3,786	3,767	3,748	3,729	3,710	3,691
①水使用量の削減	本社	m ³	1,334	1,327	1,321	1,314	1,307	1,301
	事業部	m ³	2,452	2,440	2,427	2,415	2,403	2,391
	全体	m ³	3,786	3,767	3,748	3,729	3,710	3,691
4. 施設、業務の維持管理（管理目標）※3	全体	t-CO ₂	1,772.9	1,772.9	1,772.9	1,772.9	1,772.9	1,772.9
二酸化炭素排出量（参考）	葬祭場	Nm ³	650,107	650,107	650,107	650,107	650,107	650,107
①都市ガス使用量の管理	西部リサイクルプラザ	L	448	448	448	448	448	448
②ガソリン使用量の管理	業務課	L	26,426	26,426	26,426	26,426	26,426	26,426
③軽油使用量の管理	葬祭場	kg	2,139	2,139	2,139	2,139	2,139	2,139
④一般廃棄物排出量の管理	全体	m ³	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266
⑤水使用量の管理	西部リサイクルプラザ	m ³	472	-	-	-	-	-
	葬祭場	m ³	2,794	-	-	-	-	-
	全体	m ³	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266
5. グリーン購入の推進	全体	%※4	37	37	37	38	38	38
6. 環境啓発事業の推進（管理目標）	西部リサイクルプラザ 環境啓発課	%※5	91	91	91	91	91	91

※1 EV車の導入計画に基づく、EV車導入による使用量増減分を目標値に反映している。

※2 外的要因により単純な使用量での削減が困難な指標であるため、削減目標を原単位による指標としている。

※3 管理目標は、外的要因により削減が困難な指標を削減目標から外し、基準年に対しての実績値の推移を管理、注視していく目標としている。

※4 グリーン購入については、全購入件数に対するグリーン購入件数の割合を表しており、購入割合の増加を目標としている。

※5 環境啓発事業の推進については、アンケートで「今日の講座を体験して、ごみを減らすために何かやってみようと思った」など行動変容に繋がるような回答をした参加者の割合を表している。

1 1. 環境関連法規の遵守評価と違反・訴訟等の有無

○適用される法規制等と遵守状況

主な適用法令名称（略称）	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業者の責務	適
	一般廃棄物の許可，許可の更新	適
	収集及び運搬並びに処分に関する手数料の額	適
	一般廃棄物処理基準	適
	再委託の禁止	適
	帳簿の記載事項	適
	帳簿の保存	適
	名義貸しの禁止	適
	産業廃棄物の委託	適
	委託基準の遵守	適
	事業者の処理	適
	収集・運搬車の表示，書面の備付等	適
	管理票(マニフェスト)の交付・保存・定期報告	適
下水道法	排水設備の設置等	適
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	使用済自動車の引渡義務	適
使用済小型家電機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）	事業者の責務	適
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	建築物環境衛生管理基準	適
	特定建築物についての届出	適
騒音規制法（葬祭場）	規制基準の順守義務	適
	特定施設の数等の変更の届出	適
悪臭防止法	法による規制基準，要綱による指導基準	適
ダイオキシン類対策特別措置法（葬祭場）	排ガス測定	適
消防法	防火管理者	適
	避難上必要な施設の管理義務	適
	自衛消防組織の設置	適
	危険物取扱者	適
	消防用設備等の設置，維持	適
	消防用設備等又は特殊消防用設備等についての点検及び報告	適
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	第一種特定製品の点検に関する事項（簡易定期点検）	適
	第一種特定製品点検に関する事項（定期点検）	適
グリーン購入法	環境物品の購入推進	適
家電リサイクル法	事業者の責務	適

【違反・訴訟の有無】

事業活動に関する環境関連法規の違反、訴訟等はありませんでした。
また、関係機関からの指摘・指導や訴訟等ありません。

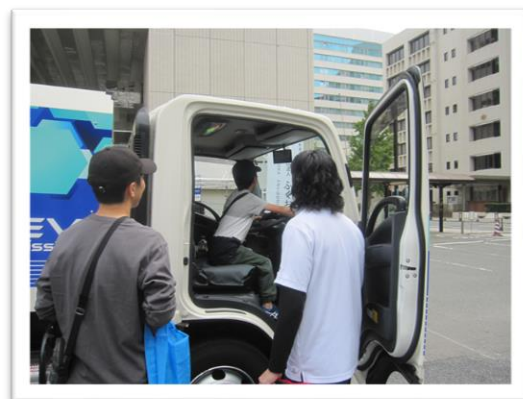
1 2. 環境啓発活動の実績

例年、環境に関するイベントを企画するとともに、福岡市等が実施する環境啓発事業への参画や協賛を行うなど環境啓発活動に取り組んでいます。

① 福岡市等が実施する環境啓発イベントへの参画



【環境フェスティバル 2024】



【環境フェスティバル 2024】

環境フェスティバルでは、令和5年度から導入したFC ごみ収集車の展示とごみ積込体験を行い、体験を通じて、ごみの分別・減量の大切さを感じてもらえるよう取り組んでいます。また、例年、地域の清掃活動の一環として「ラブアース・クリーンアップ」に参加しています。未来の子供たちにきれいな海を残すためにも清掃活動を継続していきます。

② 地域イベントへの参加



【いとにぎわい祭り】



【小学校サイエンス教室】

福岡市西区で開催される「いとにぎわい祭り」では、はたらくるまの展示（FC ごみ収集車の展示及びごみ積込体験）を行いました。また、令和6年度は、九州大学伊都キャンパスで開催された、水素燃料に関するイベント「小学校サイエンス教室」においても、はたらくるまの展示等を行い、より多くの方への環境啓発活動を行っています。

② 自主事業の企画・運営

○ごみ収集ミッドナイトツアー



【ごみ積み込み体験】



【清掃工場へのごみ投入見学】

全国でも珍しい“福岡市の夜間ごみ収集”の現場を見学するツアーを、小学生（小学校4年生から6年生）とその保護者を対象として、毎年夏休み期間中に開催しています。

普段見ることができない夜間のごみ収集作業やごみの搬入現場などを見学できる珍しさから、毎年多くの方にご参加いただいています。

令和6年度は、FC ごみ収集車の導入に伴い、上記のほか大人を対象としたツアーを追加で実施しました。

ツアー参加者に実施したアンケートでは、全ての項目で高評価をいただき、「ごみを減らす、生ごみの水切りを徹底する」等、ごみの分別・減量の大切さを伝えられるツアーになりました。

○放課後児童クラブ出前講座



【ロール芯と古布でペン立て作り】



【廃ガラス工作】

福岡市内の放課後児童クラブを対象に、不要なものを有効に活用する体験型講座を毎年実施しています。この講座に、25校、2,061名の子供たちに参加してもらいました。

また、令和6年度は、FC ごみ収集車の導入に伴い、導入が日本初の取組みであること、使用される水素が下水から作られていることの説明も行い、ごみ減量だけでなく環境問題についても理解が深められるよう講座の内容を変更し実施しました。

④福岡市が推進する「一人一花運動」への協賛



福岡市が行う「一人一花運動」に協賛しています。
各事業所の他、本社近隣のスポンサー花壇にも植栽しています。

⑤グリーンカーテンの実施



平成30年度に初めて実施し、各省エネ効果の検証の結果、遮光・遮熱効果、温度抑制効果等で一定の成果が得られたグリーンカーテンの取り組みについて、社内の環境意識の向上や省エネ推進のため、令和6年度も実施しました。

実施期間：令和6年5月～9月

実施場所：本社（館内入口横）

事業部（2階ベランダ）

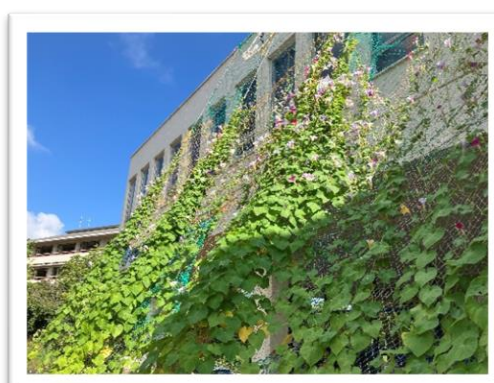
西部リサイクルプラザ（館内入口横）

福岡市葬祭場（レストラン横）

植物種類：あさがお

○取組結果

西部リサイクルプラザ（西部3Rステーション）と市民団体である「（一社）イドベタ」が共同で取り組んだグリーンカーテンが、福岡市主催の「緑のカーテンコンテスト」において、令和6年度も優秀賞を受賞しました。この環境活動を通し、他団体や地域の方との交流も活発になっています。今後も地域に密着した環境事業を展開していきたいと思ひます。



【西部3Rステーション】



【福岡市葬祭場】

1 3. 環境負荷削減の取り組み（脱炭素に向けた取り組み等）



当財団では、二酸化炭素（CO₂）排出量削減に向けて、環境経営方針の活動項目に掲げた目標を達成するために、日々の事業活動を通じて、エネルギー使用などによる環境負荷の継続的な低減に取り組んでいます。これ以外にも、各種掲示物による社内啓発活動等にも取り組んでいます。

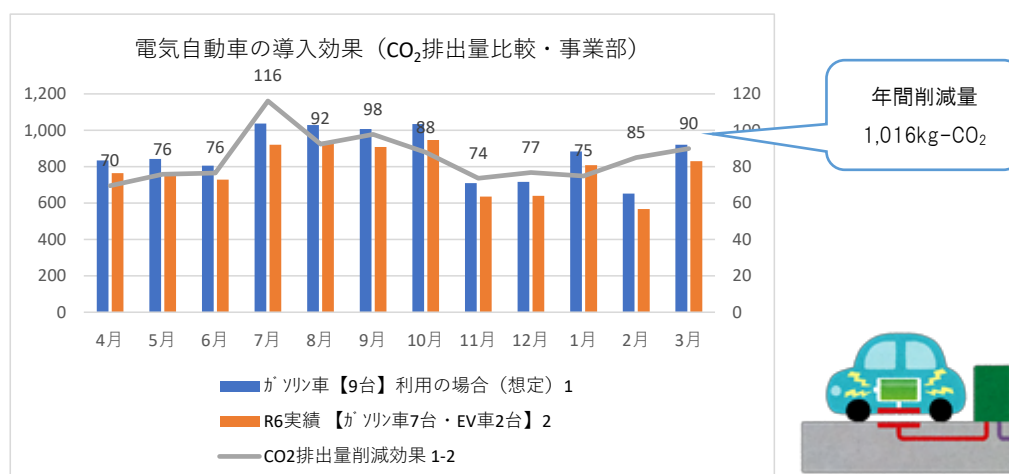
①再生可能エネルギー由来電力の利用によるCO₂排出量削減の取り組み

令和4年度に当財団の電気使用量の約88%を占める葬祭場で、令和5年度には全社に対象を拡大し、事業活動に伴う電気使用による二酸化炭素排出量ゼロを達成しました。

止めることのできない事業を多数担っている当財団は、葬祭場の火葬件数の増加に伴う都市ガス使用量の増加や、一般廃棄物収集運搬業務の一部事業拡大に伴う軽油使用量の増加等、純粋な使用量の削減が困難な項目を有していますが、再生可能エネルギー由来電力の使用等、より環境負荷の少ない商品に変更するなどの取り組みを行うことで、CO₂排出量の削減を行います。

②電気自動車導入によるCO₂排出量削減の取り組み

令和5年度に事業部業務用車両2台、令和6年度末に本社業務用車両1台を電気自動車（軽自動車）へ変更したことで、ガソリン使用によるCO₂排出量約1t分を削減しました。



③燃料電池車によるごみ収集運搬業務の運用

令和6年3月からFC（水素燃料電池）ごみ収集車による家庭系ごみの収集運搬業務を行っています。



【FC（水素燃料電池）ごみ収集車】



【FC ごみ収集車による夜間収集】

④環境関連掲示板を活用した社内啓発活動の取り組み

本社の環境関連掲示板に福岡市における環境関連の取り組みのポスター等を掲示し、環境負荷低減に向けた取り組みの情報共有と社内啓発を行っています。

本社の環境関連掲示板



四半期レポート

各種使用量等、環境経営目標の実績の推移をグラフで掲示しています。

福岡市地球温暖化対策実行計画

市の施策に関する資料を掲示し、日々取り組んでいることとの繋がりについて理解が深まるようにしています。

循環のまち・ふくおか推進プラン （第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画）

市の施策に関する資料を掲示し、日々取り組んでいることとの繋がりについて理解が深まるようにしています。

食品廃棄物・食品ロスの削減について 古紙の分別と出し方について

食品ロスの削減や、古紙の分別に関する資料を掲示し、日々の取り組みの見直し、理解を深めるようにしています。

⑤海洋ごみ問題への取組み（博多湾ブルーカーボン・クレジットの購入）

博多湾の環境保全活動を支援するために、ブルーカーボン・クレジットを購入し、クレジットを通じて、海洋生態系の保護や再生に取り組むことで、地域の環境改善に寄与しました。

※カーボン・オフセット 6.4 t-CO₂



【海中のアマモ】



【博多湾ブルーカーボン・オフセット証明書】

⑥食品廃棄物削減への取組み（フードドライブ）

令和6年5月より、財団全体でフードドライブを実施し、NPO 法人フードバンク福岡を通して、子ども食堂や社会福祉施設に職員の家庭で余っている食品を寄付しています。



【フードバンク福岡へ寄付】

	回収個数	回収量	提供者数
4月			
5月	11個	2.16kg	3人
6月	2個	0.35kg	1人
7月	17個	3.45kg	2人
8月	0個	0.00kg	0人
9月	3個	0.28kg	1人
10月	0個	0.00kg	0人
11月	0個	0.00kg	0人
12月	0個	0.00kg	0人
1月	4個	0.69kg	1人
2月	0個	0.00kg	0人
3月	0個	0.00kg	0人
合計	37個	6.93kg	8人

【フードドライブ実績（令和6年度）】

1 4. 環境配慮型設備の導入



①太陽光発電の設置

本社、西部リサイクルプラザ、葬祭場においては、太陽光発電を行っています。
建物内の電気として利用され、省エネに貢献しています。

【本社】（稼働開始：平成 23 年 7 月、最大発電力 208.4 W）



【西部リサイクルプラザ】（稼働開始：平成 6 年 6 月、最大発電力 208.4 W）



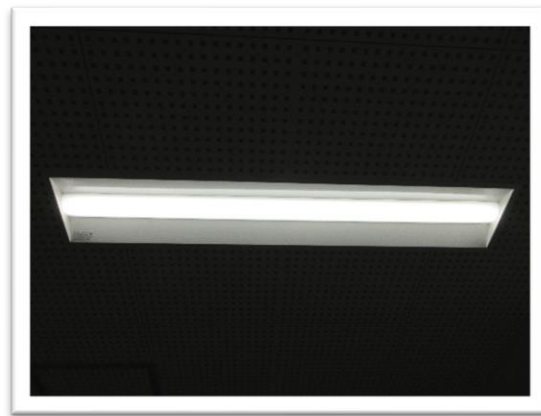
【葬祭場】（稼働開始：平成 17 年 10 月、最大発電力 10,000 W）



②照明機器の LED 化（本社・事業部事業所）

令和 7 年 2 月、電気使用量の削減を目的に本社、事業部事業所の照明機器の LED 化を実施し、いずれも事務所棟、駐車場棟のほぼ全ての照明機器を LED 仕様としました。

【本社・事務所棟】（2階事務室）



【設置した LED 照明】

【事業部事業所】（駐車場棟 1 階）



15. 代表者による全体の評価と見直し

	項目	見直しの有無	評価コメント
1	環境経営方針の見直し	無	
2	環境経営目標	有	令和6年度からの第3次中期目標を策定した。 (対象：令和6年度～令和10年度)

○全体評価コメント

当財団は、環境に配慮した事業をより積極的に展開していくことを目的に、平成28年11月に「エコアクション21」の認証登録を受け、今年で約9年が経過しようとしており、第3次中期目標（令和6年度～令和10年度）の初年度となった令和6年度は、環境のみならず、経営全体の発展を念頭に置き、環境経営の推進に取り組んだところである。

具体的には、脱炭素に向けた取り組みとして、ごみ収集運搬でのFC（水素燃料電池）ごみ収集車の運用、業務用車両へのEV軽自動車の導入、本社・事業部事務所の照明機器のLED化により、軽油、ガソリン、電気の使用に係るCO₂排出量を着実に削減した。

また、電気については、再生可能エネルギー由来電力の調達を全事業所で継続し、事業活動に伴うCO₂排出量ゼロを達成している。この他にも「博多湾ブルーカーボン・クレジット」の購入により6.4t-CO₂のオフセットを実施するなど、事業活動以外でも脱炭素社会の実現に向け、積極的に取り組んだ。

令和6年度からスタートした第3次中期目標では、環境経営計画に定める日常の事業活動におけるエネルギー使用量の削減への取り組みを継続するとともに、計画している次世代自動車の導入を推進することで、CO₂排出量の削減をはじめとする環境経営目標の達成に向け取り組んでいく。

今後も、職員一人ひとりが環境経営方針のもと、事業活動に伴うエネルギー使用に係る環境負荷の低減を意識し、日々の取り組みを継続するとともに、経営面では、脱炭素に向けた環境経営を積極的に推進することで、環境経営目標の達成に努めたい。

令和7年9月13日

理事長 高山 嘉樹

